

1 【活動の趣旨】

保護者、教師以外の人との出会いは、子どもたちの人生を豊かにすると考える。一緒に活動することで、学びが広がったり深まったりすることを目指している。ただ、今年度はコロナ禍でもあり、直接活動をとともにすることが難しいので、ボランティアとして活動に参加して下さる人を増やすことや、間接的に支えてくださっている人と子どもたちをつなげることに取り組んだ。

2 【特徴的な活動内容】

○環境整備

コロナでの休校明け、子どもたちが気持ちよく登校できるようにと地域の方々が草刈り、剪定、花壇の整備などをしてくださった。また、2学期には、地域の方だけでなく保護者にも呼びかけ、トイレと手洗い場の清掃をしていただいた。3学期には、窓ふきを中心に、普段子どもたちではできない所をきれいにさせていただく予定である。2学期は放課後に実施したが、3学期は、子どもたちの清掃時間に合わせることで、期間を1週間設定することで、より多くの保護者に参加していただくと考えている。



【外の手洗い場の清掃】

○学習支援（ミシン、聞いてもらおう）

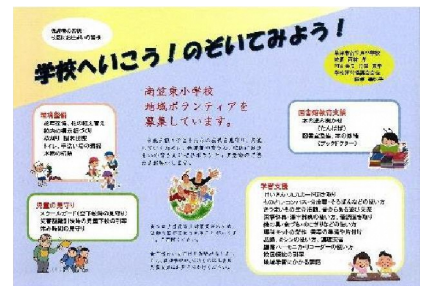
地域の方が、5年生の初めてのミシン学習、1年生のことば・カタカナ・漢字・たし算・ひき算などの定着の学習を支援してくださった。具体的には、5年生にミシンの使い方を教えていただいたり、間違っ縫ってしまった糸をほどこいていただいたりした。1年生には、音読や計算カードを聞いていただいた。自信のない子のそばについて一緒に読んでいただき、計算のヒントを言っていただいたりもした。いずれも、できることを認めたり、困っている子のそばについて、その子ができるようにするのを支えていただいた。



【みな小おうえんたいの方に聞いてもらおう】

3 【実施に当たっての工夫】

年度当初、子どもたちとともに活動することは難しかったので、地域コーディネーターと会議を重ね、できることを考えた。関わっていただける方を増やすために、ボランティアの内容や、募集方法を見直し、新たにチラシを作成した。また、ボランティアの名札も作成した。掲示板も作成予定である。



【ボランティア募集のチラシ】

4 【事業の成果】

- ・ボランティアとして登録して下さる方が増えた。
- ・名札があることで、ボランティアの名前を覚えた子がいる。

5 【事業実施上の課題】

登録して下さったボランティアとの連絡の取り方の見直し。